2026 年度

| 研究分野 | 授業科目名 | 科目責任者 |
|---|---|---|
| 生化学系分野 | 病態検査学特論Ⅰ・Ⅲ | 北中 明 |

| 開講年次 | 共通／専攻／選択 | 単位数 | |
|---|---|---|---|
| 1,2,3,4 | 特論Ⅰ：必須専攻,<br>特論Ⅲ：選択 | 特論Ⅰ：4（2/年）,<br>特論Ⅲ：1/年 | |

## 目的

【病態解析分野】
病態検査学および血液・腫瘍学に関する研究について理解を深め，自身の研究の展開へ結びつける学識・能力を修得する。
【内視鏡・超音波分野】
（1）正確な超音波診断を身につけるため，超音波全般の基本的知識を修得する。
（2）診断に必要な画像解析と各種疾患に関する知識を修得する。

## 授業到達目標

【病態解析分野】
（1）病態検査学または血液・腫瘍学に関する研究への理解や英文研究論文を読解し，その内容を紹介しつつ批判的評価を加えることができる。
（2）文献内容の優れた点を参考にして，自身の研究に反映できる。
【内視鏡・超音波分野】
（1）超音波工学の基礎的事項について説明できる。
（2）超音波画像技術について説明できる。
（3）超音波医学の新しい診断技術について説明できる。
（4）超音波診断の最近の知見について説明できる。

## 授業計画

| 回数 | 月日 | 曜日 | 時間 | 担当者 | 区分 1 | 区分 2 | 授業内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 毎週 | 金 | 14:00-15:00 | 北中 明 | その他 | [抄読会・症例検討会] | 【病態解析分野】<br>病態検査学または血液・腫瘍学について，教室内で実施している研究内容および／または英文研究論文を研究グループ内で紹介し，それに関する考察・討議を展開する。<br>[場所:本館棟 5 階カンファレンス室 11] |
| 2 | 毎週 | 水 | 16:30-17:30 | 眞部 紀明 | その他 | [症例検討会] | 【内視鏡・超音波分野】<br>興味深い症例の画像を読影する。<br>[場所:内視鏡・超音波センター] |
| 3 | 隔週 | 水 | 17:30-18:30 | 眞部 紀明 | その他 | [抄読会] | 【内視鏡・超音波分野】<br>超音波工学の基礎，超音波診断の比較的新しい話題などに関する文献を紹介する。<br>[場所:内視鏡・超音波センター] |
| 4 | 隔月 | 第 2 木 | 19:00-20:30 | 眞部 紀明 | その他 | [抄読会・症例検討会] | 【内視鏡・超音波分野】<br>画像読影演習と疾患の超音波像に関する講義のオープンカンファレンス<br>[場所:内視鏡・超音波センター] |

## 評価方法

【病態解析分野】【内視鏡・超音波分野】共通
【特論Ⅰ】
（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

## 課題（レポート等）に対するフィードバック

【病態解析分野】
（1）研究や論文紹介時の質疑応答を通じて，口頭で評価を与える。
（2）研究や論文内容の要約をレポートとして提出させ，返却する。また，それについて指導をおこなう。
【内視鏡・超音波分野】
（1）紹介論文の要約について，添削して返却する。
（2）レポートについて，添削し返却する。

| 教科書 |
| --- |
| ISBN-9784524203710, 血液専門医テキスト　改訂第４版　【病態解析分野】, 日本血液学会編集, 南江堂, 2023<br>ISBN-9784938372842, 腹部超音波テキスト : 上・下腹部　【内視鏡・超音波分野】, 辻本文雄編著 ; 松原馨, 井田正博著, ベクトル・コア, 2002 |
| 参考書 |
| ISBN-9789283245209, Haematolymphoid tumours　【病態解析分野】, edited by WHO classification of tumours editorial board, World Health Organization, 2024<br>ISBN-9784830614262, 血液細胞アトラス（第６版）　【病態解析分野】, 通山薫, 張替秀郎, 文光堂, 2018<br>ISBN-9784526063947, 超音波技術入門 : 発信から受信まで　【内視鏡・超音波分野】, 宇田川義夫編著, 日刊工業新聞社, 2010<br>ISBN-9784906714049, 超音波の基礎と装置　【内視鏡・超音波分野】, 甲子乃人著, ベクトル・コア, 2013 |
| 準備学習（予習・復習等） |
| 【病態解析分野】<br>（１）紹介論文がある場合は約１週間前にメール送信されるので, 当日までに理解しておく。予習・復習ともに１時間以上をかけること。<br>（２）自身が担当の時は, 数週間前から十分な準備をして臨む。その場合予習には３～６時間を要する。復習は１時間ほどかける。<br>【内視鏡・超音波分野】<br>（１）週３時間程度, 参考書を精読し, 疑問点は他書等により調べる。<br>（２）紹介された新技術に関する論文を再読し, 関連文献を検索する。<br>（３）画像解析演習で経験した症例に関し, その特徴を整理する。 |
| 修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 |
| 【病態解析分野】<br>病態検査学または血液・腫瘍学に関する研究内容の理解や英文研究論文の読解を通して科学的思考のあり方を修得し, 自身の研究遂行に役立てることができる。<br>【内視鏡・超音波分野】<br>（１）課題を探求し, 仮説立脚, 検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。<br>（２）医学・医療の分野を牽引し, 指導的役割を果たすことができる。 |
| 注意事項・メッセージ |
| 【病態解析分野】<br>英文の研究論文に、日常的にふれる習慣を身につけること。<br>【内視鏡・超音波分野】<br>特に音響学と工学に関し, 随時試問を行うので, 日頃から勉強しておくこと。 |